

びばい社協  
広報紙

ぽ  
ぷ  
ら

平成30年  
3月12日

発行

通算第71号



# びばいっ子達が頑張っています！

今回のぽぷらの一面は、市内小学校で取組まれた、「ボランティア活動」や「福祉体験学習」の実施の様子など、次代を担う子ども達の活動をご紹介します。と思います。

## ■東小学校5年生による「福祉体験学習」(車椅子・アイマスク歩行と手話・点字体験)

東小5年生は毎年、総合福祉センターにて総合学習の一環として福祉の学習を行っています。今年は2月14・19日の2日間で実施しました。初めて触る車椅子や手話・点字に戸惑いながらも、真剣な表情で体験してくれました。講師には、市内ボランティア団体(美唄ろうあ協会様・美唄手話の会様・美唄点訳の会ペッカーズクラブ様)にご協力いただきました。

今回の体験学習、ボランティア活動を通じて、障がい者に対する理解を深め、地域でささえあう市民として、今回の学びが活かされることを願っています。



自動販売機にも点字があるの！？驚く子ども達。



見よう見まねで手を動かしています。



車椅子介助の体験の中で心遣いを学びました。



■茶志内小学校による「地域廃品回収ボランティア」の実施  
茶志内小学校では、高齢者宅にある大型のゴミなどの廃品回収を行うリサイクルボランティア活動を行っています。  
廃品回収は、2人ペアになり地域すべてをまわります。軽トラックを保護者から借用し、子どもたちや教職員などで8グループに分け、集まった廃品を分別します。



■南美唄地区育成協による「除雪ボランティア」の実施  
2月3日、本会ボランティアセンターが依頼した南美唄地区の独居高齢者宅の除雪を、児童・地域住民・保護者・学校教員含め総勢30名の皆さんに行っていただきました。

## さわやかフレンドのご案内

「さわやかフレンド(脳の健康教室の愛称)」は、昨年6月にささえあい活動(地域福祉の一環)として認知症の予防を目的に開講しました。開講当初は6名の方が受講されましたが、現在は13名の方が受講されています。  
当初はやや緊張感が漂うような雰囲気でしたが、現在は「ここに来て、友達と会い、さわやかな気持ちになれる」と、皆さん笑顔で参加されています。

体験や見学も随時行っておりますので、教室の明るい雰囲気と一緒に感じてみませんか？

日時：毎週火曜日(祝日除く)

13時30分～14時45分

場所：美唄市総合福祉センターぽぷら会議室

費用：入会金3000円

毎月の月謝3000円

(週1回の教室学習と毎日自宅のできる教材費、懇談時の茶菓子、諸経費含む)

内容：学習(読みと計算、すうじ盤)と軽体操など

その他：随時体験や見学を行っております。送迎が必要な方はご相談ください。送迎を支える市民サポーターも募集しております

